



他自治体で使われている
救急あんしんキット

「救急安心キット」とは：
高齢者や障害者などの安全・
安心を確保するために、
①救急連絡先 ②かかりつけ
医 ③持病 ④服薬情報 ⑤健
康保険証のコピー ⑥本人の
写真などの情報を、専用の
容器に入れ冷蔵庫に保管し
ておくことで、救急隊がそ
れをもとに処理を行えるも
の。(配布対象世帯：65歳以
上の者ほか)



松元道芳 議員

「救急あんしんキット」
を配布して緊急時の
対応をスムーズに

町長

「緊急連絡カード」を作成し配布
しているが、さらに改善したい。

町長 〓 知名町では平成18年
頃から「緊急連絡カード」
を作成し、ひとり暮らし高
齢者等の世帯へ配布、活用
している。しかしキットの
方がより詳細な情報があり、
救急隊員の迅速な対応につ
ながる。また、持ち出しに
も便利なことから、消防署
等関係機関と協議し、改善
したい。

平成25年5月、沖永良
部観光連盟事務局がオ
ブ。現在両町で運営さ
れているが、助成金の額
が知名町50万円に対し和
泊町300万円。来年度か
らの運営が危惧されてい
る。知名町も和泊町と同
額の助成はできないか。

町長 〓 観光連盟の歳出入の
改善を図ってもらうこと
をお願いし、助成金につ
いては何かの手立てが必要
と感じている。福井源乃
議員の質問に同様の内容
があるため、そちらの答
弁を参照して欲しい。

日本一を誇る「昇竜洞」
を、将来を担う子ども達
に無料見学してもらい、
PRしてもらっては。ま
た毎年1年生の教科学習
としても良いと思うが。

町長 〓 小・中学生の利用状
況は、3年前から「郷土学
習」として利用している。
その際、小人の入洞料を
500円→300円に減額
している。
無料見学の実施は、維持
管理等で厳しい経営状況
のため、困難な見通し。

県道バイパス1.2km区間
(制限速度40km)は、子
どもの通学路にも関わら
ず横断歩道が「あしびの郷
ちな」の前1カ所しか
ない。車両が頻繁に通行
しているのとても危険だ
と認識している。あと1
〜2カ所必要だと思いが。

町長 〓 横断歩道の設置は道
路管理者、沖永良部警察署
との調整が必要となる。該



夢の国 (昇竜洞)

当箇所にあたる知名字の住
民の意見も参考にしながら、
設置の必要性も含めて交通
安全の確保に努めたい。

